

今回発刊いたしました第18巻1号では、主に2025年8月に開催された第19回日本臨床検査学教育学会学術大会において、基調講演、特別講演、教育シンポジウム、ワークショップでご発表いただいた先生方、ならびに学生優秀発表賞を受賞された学生の皆様にご執筆いただきました。本号には、臨床検査技師の卒前・卒後教育から、研究思考をもつ臨床検査技師の養成に至るまで、多岐にわたる内容が収録されております。いずれも、未来の臨床検査技師が臨床の現場でどのように活躍していくべきかを考える上で、示唆に富むものとなっております。

近年、臨床検査を取り巻く環境は、医療の高度化に加え、AIやデジタル技術の急速な進展により、大きな転換期を迎えていると感じています。本誌においても、AIやデジタル技術を活用した研究や教育に関する報告が増えており、その影響の広がりを実感しております。臨床検査学教育の現場において、これらの技術をどのように取り入れ、次世代の

臨床検査技師を育成していくかは、今後ますます重要な課題となるでしょう。

編集作業を通じて改めて感じたことは、技術が進歩する一方で、教育における本質は変わらないということです。AIの活用により業務の効率化が期待される中でも、臨床検査の意義を理解し、自ら考える力を身につけ、学び続ける姿勢は、若手のみならず教育者にとっても、これまで以上に重要であると考えます。

最後になりますが、ご多忙の中、本誌の趣旨にご賛同いただき、貴重な教育実践や研究成果をご寄稿くださいました著者の先生方、ならびに丁寧なご査読をお寄せいただいた査読者の先生方に、心より感謝申し上げます。本号が、臨床検査学教育の未来を考える一助となり、日々の教育・研究を見つめ直すきっかけとなれば幸いです。今後とも、本誌へのご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

(令和8年1月26日 編集委員 副島 友莉恵)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部
編集委員会(令和7年・8年度、五十音順、敬称略)

副理事長(学術部)：高崎昭彦(四日市看護医療大学)

委員長：多田達史(香川県立保健医療大学)

副委員長：吉田祥子(東京工科大学)

委員：木村明佐子(国際医療福祉大学)、塩竈和也(藤田医科大学)、下廣 寿(鳥取大学)、
副島友莉恵(東京科学大学)、徳原康哲(香川県立保健医療大学)、中原正子(広島国際大学)、
中村彰宏(天理大学)、野坂大喜(弘前大学)、三上あかね(東京工科大学)、
溝越祐志(神戸常盤大学)、本木由香里(山口大学)、米谷正太(杏林大学)

臨床検査学教育 第18巻 第1号

令和8年3月1日 発行

発行人：一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
理事長 坂本秀生

〒143-0016 東京都大田区大森北 4-10-7
日本臨床衛生検査技師会内
Tel. 080-7228-0508
e-mail : jimukyoku@nitirinkyo.jp
http://www.nitirinkyo.jp

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会
e-mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店
〒104-0042 東京都中央区入船 3-3-3
Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)日本廣業社
〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-11
Tel. 03-3238-7501